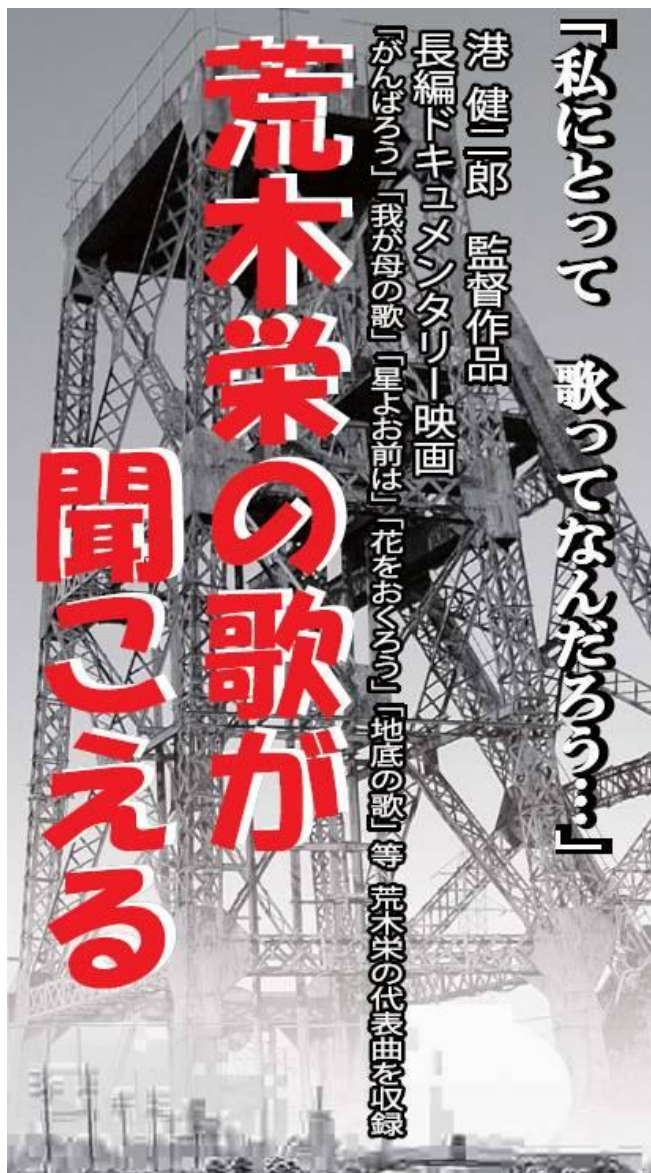


映画とうたう会

ドキュメンタリー映画

「荒木栄の歌が聞こえる」の上映 &

荒木栄の思いを歌いかわしましょう！



【目次】

おい仲間たち	1
♪沖縄を返せ	1
♪俺たちの胸の火は	1
♪がんばろう	1
♪五月のうた	2
♪子どもを守る歌	2
心はいつも夜明けだ	3
この勝利ひびけとどろけ	3
大行進のうた	3
♪地底のうた	4
手	5
どんと来い	5
♪仲間のうた	5
♪花をおくろう	6
♪星よおまえは	6
♪三池の主婦の子守唄	6
燃やせ鬨魂	7
♪夜明けだ	7
♪わが母のうた	7

(♪印は映画の中でうたわれます)



荒木栄について

誕生 : 1924年10月15日

学校 : 大牟田の高等小学校卒業

就職 : 三井鉱山三池製作所の機械組立工

逝去 : 1962年10月26日胃がんのため

音楽 : 独学でバイオリンを覚える

職場の混声合唱団に入る

1949年から作曲活動に入る

愛称 : ガキ大将

職場サークルでリーダーとして

敬愛され、情熱一点張りの

率直な人柄から

おい仲間たち

【作詞】森田 ヤエ子
【作曲】荒木 栄

おい仲間たち
この苦しみを踏み抜くことが
新しい職場を作るんだよな
そうだ そうだ 仲間たち
もつともつと体を寄せ合って
あついこの血のうねりを
伝え合おう

おい仲間たち
この憎しみで貫くことが
いまある自由を広げるんだよな
(繰り返し)

おい仲間たち
この闘いを続けることが
若い日本を築くんだよな
(繰り返し)

沖繩を返せ

【作詞】全司法福岡高裁
【作曲】荒木 栄

固き土をやぶりて
民族の怒りに燃える島
沖繩よ
我らと我らの祖先が
血と汗をもって
守り育てた 沖繩よ
我らは叫ぶ 沖繩よ
我らのものだ 沖繩は
沖繩を返せ
沖繩を返せ

おれたちの胸の火は

【作詞】森田 ヤエ子
【作曲】荒木 栄

俺たちのボタ山は
有明の海ふかく
ふかく つきささり
あつい海鳴りが
かえってくる

俺たちの友の血は
四ツ山の土深く
深くしみわたり

あつにくしみか
かえってくる

俺たちの胸の火は
赤々と大地ふかく
ふかく つらぬいて
あつい炎が
かえってくる

がんばろう

【作詞】森田 ヤエ子
【作曲】荒木 栄

がんばろう 突き上げる空に
くろがねの男のこぶしがある
もえあがる女のこぶしがある
闘いはここから 闘いは今から
がんばろう 突き上げる空に
輪をつなぐ仲間のこぶしがある
おしよせる仲間のこぶしがある
闘いはここから 闘いは今から
がんばろう 突き上げる空に
国のうちそとのこぶしがある
勝どきをよぶこぶしは一つ
闘いはここから 闘いは今から
オウ

五月のうた

【作詞】森田 ヤエ子
【作曲】荒木 栄

あふれる想い出よ五月
旗も心も眼差しも
輝くよ五月 五月
美しい平和の闘いに
いま君をおくろう

懐かしい想い出よ五月
列も足取りも大地も
踊るよ五月 五月
たくましい独立の闘いに
いま君をおくろう

息づまる想い出よ五月
町も野原も荒らされた
故郷の五月 五月
うたごえを平和の砦に
いま君をおくろう

子供を守るうた

【作詞】上野 博子
【作曲】荒木 栄

子供達よ 健やかに育ちゆく
子供達よ

「先生」と呼びかけて
今日も集まる
54人のつぶらな瞳
私の愛する 子供達よ

どう教えたらよいのだろう
どう知らせたらよいのだろう
わたしの上にみんなの上に
覆い掛かる暗い影を
この影を この暗い影を

ねえ、みんな この中に一人でも
わけも分からず
怒鳴られたり 笑われたり
人を蹴落として
自分だけがいい子になろうとしたら
どんなに どんなに
悲しいことだろう

みくにの為に 死ねと教えた昔
命を散らした教え子の顔が
目に浮かぶ 目に浮かぶ
良心の呵責が弱さを支え
平和を守る心が 私を鍛えた

明るい太陽の その下で
すくすくと伸びる子供達よ
笑い顔 おこり顔 おどけた顔で
野の花のように 美しく育てよ育て
平和な未来を 築くために

国の隅々から 湧き上がる声は
子供を守る父母の 教師の叫び
初めて巻いたはちまきの
鮮やかな白さ
初めて組んだスクラムの力強さ

私は起ち上がった
みんなは起ち上がった
この闘いが平和を守る
「勤評反対！」
「戦争反対！」
子供達を 戦争へおくるな！

心はいつも夜明けた

【作詞】 永山 孝

【作曲】 荒木 栄

夕日がよごれた工場の屋根に

しずめば おれたちや町に散らばる

若者や娘たちの 胸に灯をともしに

*心には夜はない いつも夜明けた

心には夜はない いつも夜明けた

朝日がよごれた工場の窓を

照らせばおれたちや職場に散らばる

若者や娘たちの 胸がくもらぬよう

*くりかえし

夕日は朝日は 働く仲間

(そうだ今日もがんばろう)

やがて開ける未来を照らす

若者よ娘たちよ 胸に誇りをもとう

*くりかえし

この勝利ひびけとどろけ

【作詞】 荒木 栄

【作曲】 荒木 栄

筑紫野のみどりの道を

進み行く十万の戦列

赤旗は春風にはためき

歌声は空にこだます

基地板付の包囲めざし

進み行く我らの戦列

ジェット機に足奪われた

松葉杖の老婆は叫ぶ

「皆さんがんばって

きつと仇をうって下さい……」

百万坪の包囲めざし

進み行く我らの戦列

飛び立てぬ百のジェット機

姿隠す戦争の手下

板付は包囲された

アメリカは包囲された

南ベトナムへ南朝鮮へ

この勝利ひびけとどろけ

大行進のうた

【作詞】 全日自労大牟田

【作曲】 荒木 栄

踏みにじられたものの

なお誇り高い 足音を 聞け

吹雪も風も

おれたちの行く手を

阻むことはできない

踏みにじられた歌の

なお希望あふれる 瞳 見よ

霧も砂埃も

おれたちの瞳を

曇らすことはできない

踏みにじられたものの

なお明日を生きる 歌声は響く

山に海辺に

おれたちの平和を

築く歌は響く

平和の歌 響く

平和の歌 響く

【作詞】荒木 栄

【作曲】荒木 栄

序章 (合唱)
有明の海の底深く
地底にいでむ男たち
働く者の火をかかげ
豊かな明日と平和のために
たたかい続ける 革命の前衛
炭坑労働者

(テノール独唱・合唱)
眠った坊やのふくらんだ
頬をつついて表に出れば
夜の空気の冷えて冷えて
朝の近さを告げている
「ご安全に」と妻の声
渡す弁当のぬくもりには
つらい差別に負けるなと
心をこめた同志愛

夜は暗く壁は厚い
だけれど俺たちや負けないぞ
職制のおどかし恐れんぞ
あのデッキたいたかいで
会社や、ポリ公や、
裁判所や、暴力団と……
男も女も、子供も年寄りも、
「ガンバロウ！」の歌を武器に
スクラムを武器に
たたかい続けたことを忘れんぞ

夜の社宅の眠りの中から
あっちこつちからやつてくる仲間
悲しみも喜びも分け合う仲間
闇の中でも心は通う
地底に続くたたかいめざし
今日も切羽へ一番方出動

(合唱)
崩れる炭壁ほこりは舞い
汗はあふれ
担ぐ坑木 肩は破れ
血は滴る
ドリルはうなり 流れるコンベア
柱はきしむ
独占資本の合理化と
命をかけた闘いが夜も昼も

暗い坑道 地熱に焼け
ただようガス
岩の間から滴る水 頬をぬらし
カッターはわめき飛び去る炭車
岩盤さしむ
「落盤だアー」「埋まったぞー」
米日反動の搾取と 命をかけた闘い
が 夜も昼も続く……

(テノール・バリトン重唱)
落盤で殺された友の変わり果てた姿
狂おしく取りすがる奥さんの悲しみ
幼児は何にも知らず背中で眠る
胸突き上げるこの怒り この怒り

ピケでは刺し殺され
落盤では押し潰され
炭車のレールを血で染めた仲間
労働強化と保安のサボで
次々に仲間の命が奪われてゆく
奪ったやつは誰だ！ 「三井独占」
殺したやつは誰だ！
「アメリカ帝国主義」
奪ったやつを 殺したやつを
許さないぞ
断じて許さないぞ

(合唱)
おれたちは栄えある三池炭坑労働者
団結の絆さらに強く
真実の敵打ち砕く
力に満ちたたたかいを
足取り高くすすめよう

おれたちは栄えある三池炭坑労働者
スクラムを捨てた仲間憎まず
真実の敵打ち砕く
自信に満ちたたたかいの
手を差しのべよう呼びかけよう
おれたちは栄えある三池炭坑労働者
弾圧を恐れぬ不敵の心、
真実の敵打ち砕く
勇気に満ちた闘いで
平和の砦 かためよう
かためよう！

手

【作詞】竹下 八重子

【作曲】荒木 栄

太い手細い手日焼けの手と手
みんな生きてるわしらの手
雨にはあぶれても風には怯えても
闘い抜いてきた みんなの手と手
エンヤコラ ドッコイシヨ
エンヤコラ ドッコイシヨ

太い手細い手日焼けの手と手
色気はないがわしらの手
夜には針仕事 子供達の服縫えば
勇気が湧いてくる みんなの手と手
エンヤコラ ドッコイシヨ
エンヤコラ ドッコイシヨ

太い手細い手 日焼けの手と手
筋の入った働く手
ザル持ちや血もかよう
シヤベルに力こめて
明日の幸せ 勝ち取る手と手
エンヤコラ ドッコイシヨ
エンヤコラ ドッコイシヨ

どんと来い

【作詞】荒木 栄

【作曲】荒木 栄

掛け声でいこうぜ！！
「資本家どもあ 我がどんばつかり
しこたま儲けて 知らん顔」
「投資はするくせ 不景気ちゅうて
首切り賃下げやり放題」

みんな集まれ腕を組め 炭坑マンも
鉄道員も 化学の仲間も日雇いも
企業合理化はね返そう（オー）
どんと来いはね返そう
働く仲間の団結を（ソレ） 団結を

掛け声でいこうぜ！！
「あっちこっち 基地のあつとに
独立平和ちやおかしかばい」
「共同防衛 海外派兵で
ミサイル 水爆 おだぶつたい」
みんな集まれ腕を組め 労働者も
農民たちも 中小企業もインテリも
安条条約うち破ろう（オー）
どんと来いうち破ろう
どんと来い見せてやるう
闘う仲間の団結を（ソレ） 団結を

仲間のうた

【作詞】大江 将精

【作曲】荒木 栄

重たい雪を真つ白にかぶった
あの炭坑（やま）にもこの街にも
そのどこかで どこかで
春を待つ準備をしている
小さい草たちが 草たちがいるよ

あらし吹いて うちたたいていった
あの炭坑にも この街にも
そのどこかで どこかで
春を呼ぶ準備をしている
一人一人の仲間がいるよ

泥の靴が踏みにじっていった
あの炭坑にも この街にも
そのどこかで どこかで
花咲かす 準備をしている
仲間のうたごえが
うたごえが するよ

花をおくろう

【作詞】森田 ヤエ子
【作曲】荒木 栄

吹雪の夜を歩いてきた
ぬかるみを飛び越えてきた
日照りにたたかれてきた
嵐の夜を走ってきた
手を取りあつて 歩いてきた
ふしくれだった荒れた手に
ふるさつを作る仲間の手から
花をおくろう オレンジの



星よお前は

【作詞】荒木 栄
【作曲】荒木 栄

星よおまえは知っているね
共に楽しく歌っていたが
仲間はなれて 仲間はなれて
遠くへ行った
瞳まどかな 瞳まどかな
あの友のこと
星よおまえは知っているね
星よおまえは知っているね
はるか都で働く友が
くのに仲間を くのに仲間を
思い出しては
いつも元気で いつも元気で
歌っていること
星よおまえは知っているね
みんなみんな知っているね
はなればなれになつてはいても
星や風が 星や風が
呼び合う歌を
仲間どうしが 仲間どうしが
呼び合う歌を
みんなみんな知っているね

三池の主婦の子守唄

【作詞】荒木 栄
【作曲】荒木 栄

雨の降る夜は辛かるね
ホッパーにらんで夜明けまで
無口のあんたが火を囲む
ビニール小屋に届きたい
腹巻き 綿入れ 卵酒
小さなこぶしを振り上げて
「警官帰れ！」と叫んだ子
目玉を命を奪われた
たぎる仲間の憎しみを
この子に 孫に つがせよう
燃える三池の火の柱
拡がれ国の隅々に
かあちゃん達の正しさが
勝利の朝を呼んでいる
眠れ 坊やよ 安らかに

燃やせ闘魂

【作詞】荒木 栄
【作曲】荒木 栄

もやせ もやせ
鉦山(ヤマ)の男の闘魂をもやせ

もやせ もやせ
もやせ もやせ 闘魂もやせ

俺たちや鉦山の 闘う鉦山の

俺たちや鉦山の 闘う鉦山の

もやせ もやせ 闘魂もやせ

むすべ むすべ 心をむすべ

俺たちや鉦山の 闘う鉦山の

俺たちや鉦山の 闘う鉦山の

むすべ むすべ 心をむすべ

進め 進め ひるまず進め

俺たちや鉦山の 闘う鉦山の

俺たちや鉦山の 闘う鉦山の

鉦山の仲間 ひるまず進め

進め 進め ひるまず進め

夜明けだ

【作詞】荒木 栄
【作曲】荒木 栄

友よ眠りからさめて
はるか空を望め

見よや黒き雲ちぎれ
今ぞ陽はのぼる

夜明けだ 夜明けだ

朝がくる 希望だ 太陽はのぼる

友よまなこをひらいて
はるか山を望め

山は力にあふれて
我等に呼びかける

夜明けだ 夜明けだ

朝がくる 希望だ 太陽はのぼる

夜明けだ 夜明けの風だ

希望だ 希望の山だ

元氣いっばい登ろう
胸を張って登ろう

みんなでみんな
いざいざ登ろう

手を取り合って登ろう
いたわり合って登ろう

みんなでみんな
いざ登ろう

わが母のうた

【作詞】森田 ヤエ子
【作曲】荒木 栄

雑草(アラグサ)の実がうれて
土深く芽生える朝に

*ああわが母こそ太陽
たたかいを育てる太陽

雑草(アラグサ)のたくましさ
踏まれても伸び広がって

* (くりかえし)

雑草(アラグサ)の花のすがしさ
いちはやく迎える春を

* (くりかえし)

雑草(アラグサ)は私たち
闘いに深く根ざして

* (くりかえし)

雑草(アラグサ)は私たち
闘いに深く根ざして

* (くりかえし)

雑草(アラグサ)は私たち
闘いに深く根ざして

* (くりかえし)

雑草(アラグサ)は私たち
闘いに深く根ざして

* (くりかえし)

荒木栄 作品年譜

1949年	ひとつ星のうた	
1949年	うたおうよおどろうよ	
1949年	落日の歌	
1949年	この人を守れ	
1949年	啄木よ	
1949年	炭鉱ばやし	(1950年の第1回九州のうたごえで発表)
1950年	採炭のうた	(6月 朝鮮戦争)
1950年	選炭情歌	
1950年	地底建設の歌	(52年 炭労・電産の賃上げ63日スト)
1953年07月	炭婦協行進曲	(53年 三池113日闘争)
1954年10月	おやすみ仲間たち	
1954年12月	大牟田うたう会の歌	
1955年03月	春のうたごえ	
1955年04月	新さくら音頭	
1955年12月	心の中に	
1956年01月	そとは北風	
1956年03月	燃やせ闘魂	
1956年04月	星よお前は	
1956年04月	希望の沖に	
1956年05月	せんぶりせんじのうた	
1956年09月	仲間の顔	
1956年10月	沖縄を返せ	(沖縄返還闘争に呼応)
1956年11月	労働者はまだ	
1956年11月	夜明けだ	
1957年10月	憎しみの中から	
1957年10月	手	(全日自労の闘いに呼応)
1958年01月	人工衛星行進曲	
1958年09月	子どもを守るうた	(教職員の勤務評定反対闘争に呼応)
1959年01月	大行進のうた	
1959年09月	どんと来い	(1959年夏、三池製作所の1278名指名解雇)
1959年11月	どんづまりのうた	
1960年01月	みんなでみんなで敵をうて	
1960年04月	俺たちの胸の火は	
1960年04月	三池の主婦の子守唄	
1960年05月	みんなニコニコ	(5月会社側のホッパー立ち入り制限と対抗ピケ)
1960年06月	がんばろう	
1960年07月	団結おどり	
1960年07月	守れホッパー	
1960年09月	闘いの火を	(9月の炭労大会で条件付き事態収拾へ)
1960年12月	ひびかせろ	(12月就労再開。但し1,200名は解雇)
1960年12月	仲間のうた	
1960年12月	花をおくろう	
1960年12月	月見草	

1961年01月	田植えうた
1961年03月	宇部興産炭鉱労働者のうた
1961年03月	三池でもやした火を燃やせ
1961年03月	よろこび
1961年03月	炭郎くんと炭子さん
1961年03月	おい仲間たち
1961年04月	炭鉱社宅のおかみさん
1961年04月	こぶし固めて
1961年05月	心はいつも夜明けだ
1961年07月	黒潮の歌
1961年00月	まわそう機械を
1961年11月	新島と板付と
1961年11月	地底のうた
1962年01月	ひざっこぞうの唄
1962年02月	アメリカ帝国主義をたたき出せ
1962年02月	ふるさと
1962年03月	筑紫野に春を
1962年03月	春まつり音頭
1962年03月	春と夜明けと若者たち
1962年03月	真っ赤な花はみんなの意気だから
1962年04月	この勝利ひびけとどろけ
1962年04月	こうず
1962年05月	五月の歌
1962年06月	平和と軍縮を
1962年07月	この道を行く
1962年07月	おれたちは太陽
1962年08月	わが母のうた

この中で、あなたは何曲ご存知ですか？

「荒木栄の歌が聞こえる」

映画とうたう会 参考資料

2008年7月25日

